

平成27年度病害虫発生予察予報第8号（11月）

平成27年11月4日
高知県病害虫防除所

《予報の概要》

作物名	病害虫名	予想発生量
抑制、促成キュウリ	べと病 うどんこ病 黄化えそ病 ミナミキイロアザミウマ ハスモンヨトウ	少(県下全域) 平年並(県下全域) 少(県下全域) 少(県下全域) <u>多(西)</u> 、少(中央、中西)
促成ナス	うどんこ病 黒枯病 タバココナジラミ ミナミキイロアザミウマ ハスモンヨトウ ホコリダニ類	<u>多(西)</u> 、平年並(東、中央) 平年並(東)、少(中央、西) <u>多(東、中央)</u> 、平年並(西) 平年並(県下全域) 少(県下全域) <u>多(東、西)</u> 、少(中央)
促成ピーマン、シシトウ	うどんこ病 黒枯病 タバココナジラミ ミナミキイロアザミウマ ヒラズハナアザミウマ ハスモンヨトウ	<u>やや多(東、中央)</u> 、やや少(中西) 少(県下全域) 平年並(東、中央)、少(中西) 平年並(中央)、やや少(東)、少(中西) <u>やや多(中央)</u> 、平年並(東)、少(中西) 平年並(中央)、少(東、中西)
促成トマト	黄化葉巻病 タバココナジラミ	少(中央) 少(中央)

※ () 内の表記 東：県東部、中央：県中央部、中西：県中西部、西：県西部

I 気象予報（高松地方気象台10月29日発表）

＜予想される向こう1か月の天候＞10月31日から11月30日

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

向こう1か月の平均気温は高い確率50%です。降水量は多い確率50%です。日照量は少ない確率50%です。

週別の気温は、1週目は平年並または低い確率ともに40%です。2週目は高い確率70%です。3～4週目は高い確率50%です。

＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）＞

期間	対象地域	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
1ヶ月	四国地方	気温	20	40	40
		降水量	20	40	40
		日照時間	40		40

＜気温経過の各階級の確率（%）＞

期間	対象地域	低い	平年並	高い
1週目	四国地方	40		20
2週目		10	20	70
3～4週目		20	30	50

＜予報の対象期間＞

1ヶ月：10月31日（土）～11月30日（日）

1週目：10月31日（土）～11月6日（金）

2週目：11月7日（土）～11月13日（金）

3～4週目：11月14日（土）～11月27日（金）

II 病虫害発生予想

1 抑制、促成キュウリの病虫害

1) ベと病

予 想 発生量：少（県下全域）

根 拠

(1)巡回調査では県中央部、中西部、西部とも発生は見られなかった。

(2)向こう1か月の気象予報では降水量が多めと予想されているため、発病に好適な条件になるが、巡回調査では発病が見られていないことから、少発生で推移すると考えられる。

対 策

(1)多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。

2) うどんこ病

予 想 発生量：平年並（県下全域）

根 拠

(1)巡回調査では県中央部、中西部、西部とも発生が見られたが、発生面積が多い地域も無く、発病程度が高い地域も見られなかった。

(2)向こう1か月の気象予報では降水量が多めと予想されているため、発生面積の増

加は少なく、平年並の発生が続くと考えられる。

対 策

- (1)他の糸状菌病害とは異なり、やや乾燥条件での発病が多くなる。多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。ガッテン乳剤、プロパティフロアブルを使用した場合、菌叢の褐変、消失は見られないので防除効果は上位葉への進展など、未発生葉への進展状況で判断する。

3) 黄化えそ病

予 想 発生量：少（県下全域）

根 拠

- (1)巡回調査では県中西部のみで発生が見られたが、平年に比べ発生は少なかった。また、本病の媒介虫であるミナミキイロアザミウマも県中西部で発生が見られたのみであり、少発生が続くと考えられる。

対 策

- (1)媒介虫であるミナミキイロアザミウマの防除を低密度時に徹底する。また、罹病株は早期に除去し、埋設するなどの処分を行う。

4) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生量：少（県下全域）

根 拠

- (1)巡回調査では県中西部のみで発生が見られたが、密度は低かった。
- (2)気温の低下にともない、野外密度が低下するためハウス内への飛び込みは少なくなる。また増殖も緩慢になるため、少発生が続くと考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるため、低密度時の防除を徹底する。また、薬剤抵抗性が発達しているため、天敵の利用など、農薬以外の防除方法も取り入れる。

5) ハスモンヨトウ

予 想 発生量：多（西部）、少（中央部、中西部）

根 拠

- (1)巡回調査では県中西部、西部で発生が見られた。県中西部では少発生であったが、西部では多発生であった。
- (2)県下（安芸市、香南市、南国市、須崎市、四万十市）に設置してあるフェロモントラップにおける10月の誘殺数は平年に比べ少なかった。
- (3)今後、気温の低下とともに野外密度は減少するため、ハウス内への飛び込みは少なくなる。またハウス内での増殖も緩慢となるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)成虫は植物体に卵塊を産みつける。ハウス開口部にネット被覆をしている場合、ネットに産み付けられた卵塊から孵化した幼虫がハウス内に侵入するので注意する。

2 促成ナスの病害虫

1) うどんこ病

予 想 発生量：多（西部）、平年並（東部、中央部）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られ、いずれの地域でも平年に比べ発病程度が高いほ場が多かった。

(2) 向こう1か月の気象予報では降水量が多めと予想されているため、発生面積の増加は少なく、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

(1) 他の糸状菌病害とは異なり、やや乾燥条件での発病が多くなる。多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。

3) 黒枯病

予 想 発生量：平年並（東部）、少（中央部、西部）

根 拠

(1) 巡回調査では県東部、西部の一部の発生がほ場で見られた。西部では少発生であったが、東部では発病程度が高いほ場も見られた。

(2) 向こう1か月の気象予報では降水量が多めと予想されているため、発病が増加すると考えられるが、現在、発病ほ場も少ないため現在の状況が続くと考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。

(2) 発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

4) タバココナジラミ

予 想 発生量：多（東部、中央部）、平年並（西部）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られた。県東部、中央部では全ての巡回ほ場で発生が見られたが、成虫主体の発生であり、すす病の被害は見られなかった。県西部では平年並の発生であった。

(2) 気温の低下とともに、野外密度が低下するため野外からのハウス内侵入はなくなる。また、増殖も緩慢となるため現在の状況が続くと考えられる。

対 策

(1) 本虫は生長点付近に成虫が産卵するので、薬剤防除を行う場合、上位葉を中心に発生初期の防除を徹底する。

5) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生量：平年並（県下全域）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られた。いずれの地域も発生面積は平年並であったが、西部では寄生密度の高いほ場も見られた。

(2) 気温の低下にともない、野外密度が低下するためハウス内への飛び込みは少なくなる。また増殖も緩慢になるため平年並の発生が続くと考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるため、低密度時の防除を徹底する。また、薬剤抵抗性が発達しているため、天敵の利用など、農薬以外の防除方法も取り入れる。

6) ハスモンヨトウ

予 想 発生量：少（県下全域）

根 拠

(1) 巡回調査では県東部のみで被害株が見られたが、平年に比べ発生面積も少なく、被害株率が高いほ場も見られなかった。

(2) 県下（安芸市、香南市、南国市、須崎市、四万十市）に設置してあるフェロモン
トラップにおける10月の誘殺数は平年に比べ少なかった。

(3) 今後、気温の低下とともに野外密度は減少するため、ハウス内への飛び込みは少
なくなる。またハウス内での増殖も緩慢となるため、少発生が続くと考えられる。

対 策

(1) 成虫は植物体に卵塊を産みつける。ハウス開口部にネット被覆をしている場合、
ネットに産み付けられた卵塊から孵化した幼虫がハウス内に侵入するので注意す
る。

7) ホコリダニ類

予 想 発生量：多（東部、西部）、少（中央部）

根 拠

(1) 巡回調査では県東部、西部で発生が見られ、いずれの地域も多発生であった。

(2) 既発ほ場では発生を完全に抑えることは困難であるため、現在の状況が続くと考
えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底する。

(2) 薬剤防除を行う場合、生長点付近を中心にとっぷりと薬剤散布を行う。また、発
生株だけでなく、周辺の株も防除を行う。

3 促成ピーマン、シシトウの病害虫

1) うどんこ病

予 想 発生量：やや多（東部、中央部）、やや少（中西部）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られた。県東部、中央部では平年よりやや多め
の発生であり、中央部では発病程度の高いほ場も見られた。中西部は発生面積は
平年よりやや少なめであったが、発病程度の高いほ場が多かった。

(2) 向こう1か月の気象予報では降水量が多めと予想されているため、病勢の進展は
少なく、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

(1) 他の糸状菌病害とは異なり、やや乾燥条件での発病が多くなる。多発すると防除
が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。

2) 黒枯病

予 想 発生量：少（県下全域）

根 拠

(1) 巡回調査では発生が見られなかった。

(2) 向こう1か月の気象予報では降水量が多めと予想されているため、発生に好適な
条件となるが、巡回調査の結果から少発生が続くと考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気によ
り、ハウス内湿度の低下に努める。

(2) 発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

3) タバココナジラミ

予 想 発生量：平年並（東部、中央部）、少（中西部）

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で見られた。平年に比べ、発生面積が多い地域は見られな
いが、県東部では寄生株率がやや高めであった。
- (2)気温の低下とともに、野外密度が低下するため野外からのハウス内侵入はなくな
る。また、増殖も緩慢となるため現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)本虫は生長点付近に成虫が産卵するので、薬剤防除を行う場合、上位葉を中心に
発生初期の防除を徹底する。

4) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生量：平年並（中央部）、やや少（東部）、少（中西部）

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で見られたが、いずれの地域も目立った発生は無かった。
- (2)気温の低下にともない、野外密度が低下するためハウス内への飛び込みは少なく
なる。また増殖も緩慢になるため現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるため、低密度時の防除を徹底する。また、薬剤抵抗
性が発達しているため、天敵の利用など、農薬以外の防除方法も取り入れる。

5) ヒラズハナアザミウマ

予 想 発生量：やや多（中央部）、平年並（東部）、少（中西部）

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で見られた。中央部では寄生花率、密度が高いほ場も見ら
れたが、実被害は無かった。
- (2)気温の低下にともない、野外密度が低下するためハウス内への飛び込みは少なく
なるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるため、低密度時の防除を徹底する。また、薬剤抵抗
性が発達しているため、天敵の利用など、農薬以外の防除方法も取り入れる。

6) ハスモンヨトウ

予 想 発生量：平年並（中央部）、少（東部、中西部）

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で被害株が見られた。いずれの地域も葉の食害が主であり、
被害株率が高いほ場も見られなかった。
- (2)県下（安芸市、香南市、南国市、須崎市、四万十市）に設置してあるフェロモン
トラップにおける10月の誘殺数は平年に比べ少なかった。
- (3)今後、気温の低下とともに野外密度は減少するため、ハウス内への飛び込みは少
なくなる。またハウス内での増殖も緩慢となるため、現在の状況が続くと考えら
れる。

対 策

- (1)成虫は植物体に卵塊を産みつける。ハウス開口部にネット被覆をしている場合、
ネットに産み付けられた卵塊から孵化した幼虫がハウス内に侵入するので注意す
る。

4 促成トマトの病害虫

1) 黄化葉巻病

予 想 発生量：少(中央部)

根 拠

- (1)巡回調査では一部のは場で発生が見られたのみであり、被害株もわずかであった。
- (2)本病の媒介虫であるタバココナジラミは巡回調査では見られなかった。また、気温の低下とともに、野外密度が低下するため野外からのハウス内侵入はなくなるため、少発生が続く考えられる。

対 策

- (1)媒介虫であるタバココナジラミの防除を徹底する。また、罹病株はほ場外に持ち出し、埋設するなどして処分する。

2) タバココナジラミ

予 想 発生量：少(中央部)

根 拠

- (1)巡回調査では発生が見られなかった。
- (2)気温の低下とともに、野外密度が低下するため野外からのハウス内侵入はなくなるため、少発生が続く考えられる。

対 策

- (1)本虫は生長点付近に成虫が産卵するので、薬剤防除を行う場合、上位葉を中心に発生初期の防除を徹底する。また、本虫は黄化葉巻病を媒介するので注意する。

3) その他の病害虫

巡回調査では見られなかった。

農作物の病害虫防除のための情報です。お気軽にご利用ください。

病害虫防除所ホームページ (こうち農業ネット)

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2016>

- ①病害虫発生予察月報、病害虫発生予察予報
- ②病害虫発生予察注意報、病害虫発生予察警報、病害虫発生予察特殊報
- ③病害虫発生予察技術資料
- ④新しく問題となっている病害虫 etc.

こうち農業ネットサービス※

- ・携帯電話を使った病害虫関連情報 (どなたでも利用可能です)

<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/i/info> (Iモード)

トップメニュー→地域情報→タウンガイド・行政→高知県庁メニュー→農業情報 (ezweb)

四国メニュー→タウン情報・行政→高知県庁メニュー→農業情報：(ヤフー)

- ①病害虫発生予察情報 (概要)

※ 閲覧は無料ですが通信料は別途必要となります